

■ はじめに

このたびは HALLO neo-10 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、長年にわたって培った経験をもとに開発されたユーザーフレンドリーなラベルプリンターです。ご使用前に、本書を十分お読みいただき、HALLO neo-10 を安全に末長く最適にご使用ください。また、本書が必要になりましたとき、すぐにお読みいただけるよう本製品の近くに保管してください。

お願い：リチウムイオン (Li-ion) 電池のリサイクル
バッテリーパックは、不要になりましたらリサイクル協力店へご持参ください。



ご使用上の注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載・複製することは、禁止されています。
- ② 本書の内容に関しましては、予告無しに変更することがありますので、予めご了承ください。
- ③ 本書は内容につきまして万全を期しておりますが、万一ご不明な点、誤りおよび記載漏れなどお気づきの点がございましたら販売店またはメーカーにご連絡ください。
- ④ 本書の内容によらないで使用方法により、発生した損害などにつきましては、一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ⑤ 本製品を使用することにより、または本製品で発行したラベルなどを使用することにより、あるいは故障・修理などでデータが消えたり変化したりすることにより発生した損害などにつきましては、一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

安全にご使用いただくために

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 警告・注意の指示と意味は、次のようになっています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 絵記号について

- 「してはいけないこと」を意味しています。
- △ 「気をつけるべきこと」を意味しています。
- 「しなければいけないこと」を意味しています。

警告

- 本体・ACアダプター・バッテリーパック等は、いずれも分解しないでください。
- 破損、ショート、発火のおそれがあり、感電・やけど・火災の原因になります。
- ACアダプターでの使用後は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。
- 電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、電流が流れています。電源ケーブルの疲労、断線、ショート等による感電・漏電・火災・けがの原因になります。
- 差し込み部にホコリがたまり、漏電・火災の原因になります。
- 屋外では使用しないでください。
- 屋内の安全な環境下でご使用ください。
- 本体にホコリや異物が入らないようご注意ください。故障・破損の原因になります。

注意

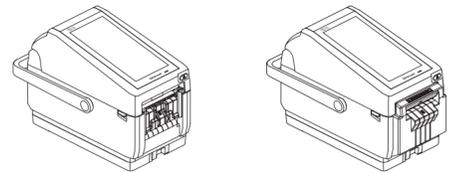
- カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますので、絶対に手を触れないでください。
- 使用直後のラベル交換時などは、サーマルヘッドが過熱していてやけどのおそれがあります。また、手油がサーマルヘッドの劣化の原因にもなりますので、絶対に触れないでください。
- 本製品を落としたり、ぶついたりするなどの「強い衝撃」を与えないでください。
- タッチパネルなどの破損、ショート、発火のおそれがあり、感電・やけど・火災・故障の原因になります。
- 本体・ACアダプター・バッテリーパック等、製品に水やホコリなどがかからないようにしてください。
- そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- エアコンの近くや直射日光の当たる場所に放置したり、長期保管したりしないでください。また、極端な温度、湿度の環境のもとでの使用は避けてください。
- 本製品の内部の温度が上がったり結露したりして、火災・感電の原因になります。
- コンセントから電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源ケーブルを引っ張ると、芯線が切れたりむき出しになったりして、断線、ショート等による感電・火災の原因になります。
- カバーを閉める時は、指を挟まないようにしてください。
- けがの原因になります。
- カバーの開放時は、剥離板のエッジ部が鋭利になっていますので、手を触れないようにしてください。
- けがの原因になります。
- タッチパネルを先の尖ったものや硬いものでタッチしたり、指で強くタッチしたり衝撃を与えたりしないでください。
- タッチパネルや本体の故障・破損の原因になります。
- 納品時に本体のタッチパネルに保護フィルムが貼られていますので、使用する時は、必ず保護フィルムを剥がしてから使用してください。
- 静電気が発生するおそれがあり、故障・動作不良の原因になります。

1 プリンター本体と付属品の確認

本体

本製品は、ご購入時に剥離ユニットタイプ、またはカッターユニットタイプを選択できます。本書は剥離ユニットタイプを選択した場合の手順について説明しています。

- 剥離ユニットタイプ
- カッターユニットタイプ



付属品

- 型番、外観、仕様は予告なく変更する場合があります。
- 電源ケーブルをはじめ、付属品を本製品以外には使用しないでください。

- ACアダプター (電源ケーブル含む)
- クリーニングワイブ 1袋 (5枚入り)
- クイックガイド (本書)
- 保証書



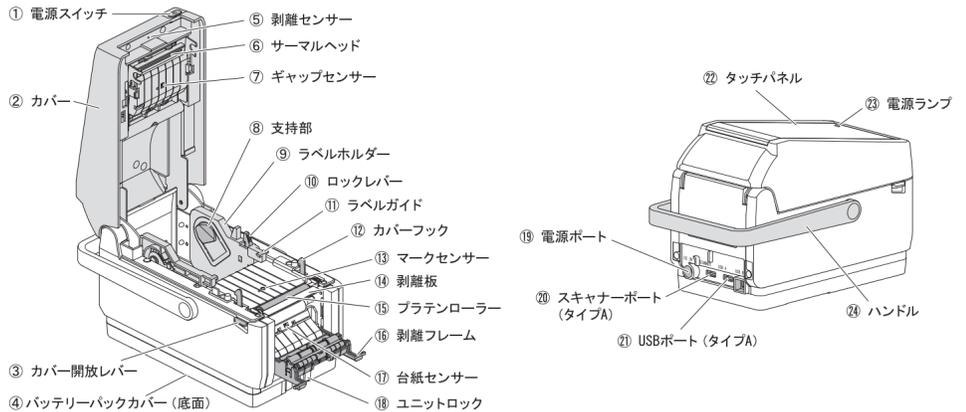
オプション

- 型番、外観、仕様は予告なく変更する場合があります。
- 電源ケーブルをはじめ、オプションを本製品以外には使用しないでください。

- バッテリーパック
- 有線スキャナー
- 無線スキャナー (USB充電器、USBケーブル、USBレシーバー含む)
- ACアダプター (電源ケーブル含む)
- クリーニングワイブ1袋 (5枚入り)



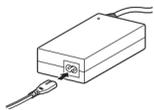
2 本体各部の名称



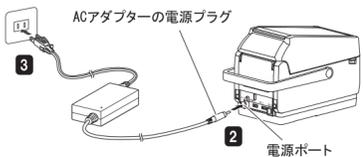
3 ACアダプターでご使用の場合

3-1 ACアダプターの接続

- 1 電源ケーブルをACアダプターに接続します。

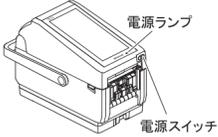


- 2 ACアダプターの電源プラグを本体背面の電源ポートに差し込みます。
- ※ 奥までしっかり差し込んでください。



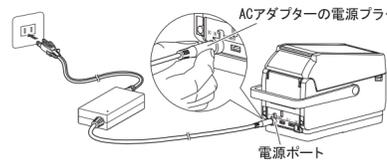
- 3 電源ケーブルのプラグをAC100Vコンセントに差し込みます。

- 4 電源スイッチを押します。
- 電源ランプが点灯して、本体の電源がオンになります。



3-2 ACアダプターの取り外し

- 1 ACアダプターの電源プラグを電源ポートから引き抜きます。



- ※ コードを引っ張ると電源プラグが破損し、感電や発煙・発火の危険性があります。

△ 注意：
・ご使用後および長時間ご使用されない場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

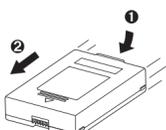
4 バッテリーパック (オプション) ご使用の場合

4-1 バッテリーパックの挿入

- 1 本体表面にあるバッテリーパックカバーのスライドロックをUnlock方向にスライドさせ (1)、上方向に押し上げてから (2)、カバーを外します。



- 2 バッテリーパックを端子がある面を下にして入れ (1)、マーカーの方向にスライドさせて (2)、セットします。
- ※ バッテリーパックの差し込み方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。

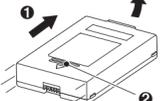


- 3 バッテリーパックカバーを取り付け、最後まで下方向に押し下げてから、スライドロックをLock方向にスライドして固定します。

- 4 電源スイッチを押して、電源を入れます。

4-2 バッテリーパックの取り出し

- 1 電源スイッチを長押しして、電源を切ります。
- 2 本体表面にあるバッテリーパックカバーのスライドロックをUnlock方向にスライドさせ (1)、上方向に押し上げてから (2)、カバーを外します。
- 3 バッテリーパックをマーカーと逆の方向にスライドさせ (1)、マーカーの箇所を押さながら (2)、バッテリーパックを持ち上げて取り外します。
- 4 バッテリーパックカバーを取り付け、最後まで下方向に押し下げてから、スライドロックをLock方向にスライドして固定します。



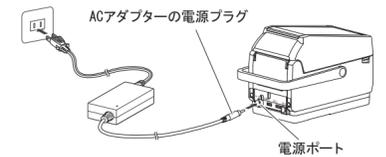
5 バッテリーパックの充電

5-1 こんなときは充電が必要です

- (1) はじめてバッテリーパックをお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったとき
- (2) タッチパネル上部に「バッテリー残量低下」や「充電してください」と表示されたとき

5-2 バッテリーパックの充電方法

- 1 バッテリーパックを本体にセットします。
- 参照 ➡ 「4-1 バッテリーパックの挿入」
- 2 電源ケーブルをACアダプターに接続し、ACアダプターの電源プラグを電源ポートに差し込み、電源ケーブルのプラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。(右段のイラスト参照)



- ※ ACアダプターが接続されている間は、バッテリーパックに常時充電が行われ、駆動はACアダプターで行います。
- ※ 充電時間は約2時間です。

・電源OFFの状態でも充電が正常に行われている場合、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

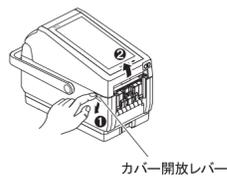
・充電が始まるとタッチパネル左上のバッテリーアイコンに電源ケーブルのプラグマークが表示されます。満充電状態になるとバッテリーアイコン内に「100」が表示されます。

6 ラベルのセット

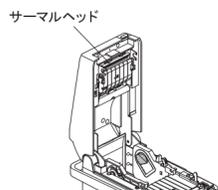
- (1) ティアオフ発行は、印字された最後のラベルが手で切り易いように剥離板のエッジ部の位置まで送られます。
- (2) 剥離発行は、台紙からラベルが剥がされて発行されます。

6-1 ティアオフ発行の場合

- 1 カバー開放レバーを押し下げて (1)、カバーを少し開放させてから (2)、カバーを手で持ち上げて開きます。

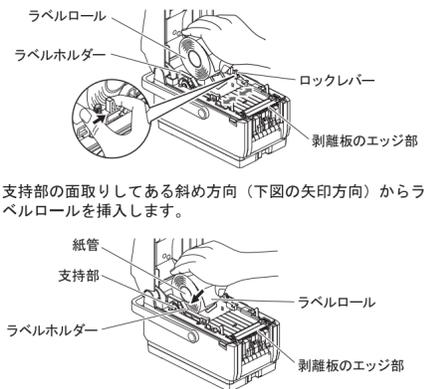


- △ 注意：
・カバーの開放時は、サーマルヘッドがむき出しになりますので、絶対に手を触れないでください。使用直後のラベル交換時などは、サーマルヘッドが過熱してやけどのおそれがあります。



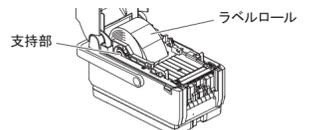
- ・カバーの開放時は、剥離板のエッジ部が鋭利になっていますので、手を触れないようにしてください。けがの原因になります。

- 2 緑色のロックレバーを押しながら、ラベルホルダーをスライドさせてラベルロールの幅に合わせてください。
- ※ ラベルロールをさみながらラベルホルダーの幅を調整したら、ロックレバーを離してラベルホルダーを固定します。



- △ 注意：
・ラベルロールは、必ず支持部の面取りしてある方向から挿入してください。
- ・カバーの開放時は、剥離板のエッジ部が鋭利になっていますので、手を触れないようにしてください。けがの原因になります。

- 4 支持部にラベルロールの紙管をしっかり引っ掛けます。

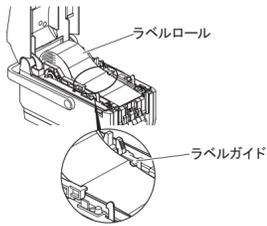


(裏面につづきます)

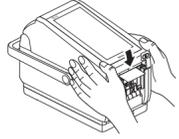
6 ラベルのセット（つづき）

6-1 ティアオフ発行の場合（つづき）

- ラベルをラベルガイドの下に通して、手前に引き出します。



- ラベルを排出口から取り出せる位置まで引き出して、カバーを両手でカチッと音がするまでゆっくり閉じます。

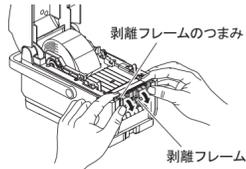


△注意：
・カバーを勢いよく閉じると故障・破損の原因になります。
・カバーの開放時は、剥離板のエッジ部が鋭利になっていますので、手を触れないようにしてください。けがの原因になります。

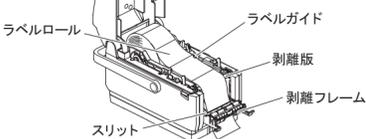
6-2 剥離発行の場合

- カバーを開き、ラベルロールをセットします。
参照 ⇒ 「6-1 ティアオフ発行の場合 1～4」

- 剥離フレームの両側つまみを手前に引き、剥離フレームを開きます。



- ラベルロールの先端のラベルを引き出してラベルガイドの下を通し、先端のラベルを2～3枚剥がして台紙だけの状態にしてから、剥離フレームと本体とのスリットに通します。



9 定期的なクリーニング

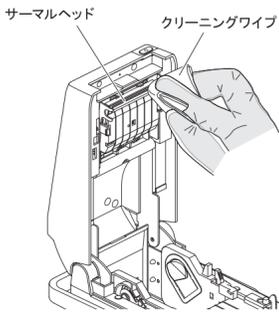
クリーニングワipesのパッケージに表示されているQRコードを読み取るとWEBサイトでクリーニング方法の説明動画をご覧頂くことができますので、是非ご利用ください。

クリーニング上の注意事項

- 必ず電源を切り、ACアダプターやバッテリーパック、ラベルを取り外してから作業を行ってください。
- クリーニング作業は、必ず指定のクリーニングワipesを使用してください。
※ クリーニングワipesは、高濃度アルコールを含むため手袋を使用してください。
- クリーニングワipesが乾燥したら、新しいクリーニングワipesをご使用ください。
※ 含浸されているアルコール以外でクリーニングを行うと、腐食の原因になります。
- サーマルヘッドは、腐食及び静電気トラブル防止のため素手で触れないでください。
- 破損防止のため、鋭利な物で糊や汚れを剥がさないでください。
- クリーニングは、月に一回を目安に行ってください。
- サーマルヘッドは、最も糊や汚れの影響を受けるため、開封直後のクリーニングワipesで作業を行ってください。
- 糊や汚れが残らないように丁寧に拭き取ってください。

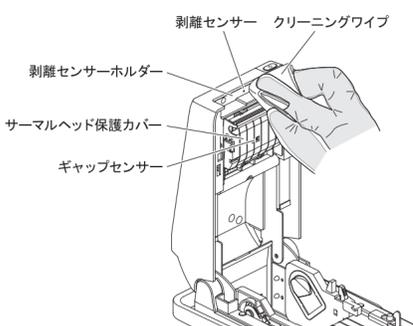
9-1 クリーニング手順1 サーマルヘッド

カバーを開いた後、サーマルヘッドの糊や汚れを優先して拭き取ります。



9-2 クリーニング手順2 ラベル搬送路1

- 剥離センサーホルダーの糊や汚れを拭き取ります。
- サーマルヘッド保護カバーの糊や汚れを拭き取ります。



7 テスト印字

ラベルのセットが完了したら、テスト印字を実行してください。

- タッチパネル左上のマークをタップし、表示された画面で「ツール」を選択します。



- ツール画面で「テスト印字」をタップし、テスト印字画面で「斜線」を選択します。



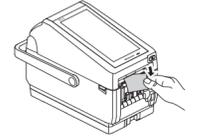
- 印字結果を確認します。
下図のように斜線が欠けることなくラベルに印刷されると正常です。



※ 印字されずにエラーが発生する場合は、ラベルロールをセットし直してください。

ラベルの切断（ティアオフ発行の場合）

ラベルを押し下げるようにして、剥離板のエッジ部で切断します。



※ カッターユニットタイプの場合は、設定された枚数に自動で切断されます。

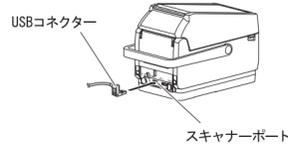
8 スキャナー（オプション）をご使用の場合

本製品は、有線スキャナー（オプション）と無線スキャナー（オプション）のどちらでも使用することができます。

8-1 スキャナーの接続

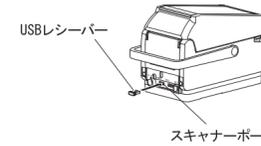
有線スキャナーの場合

有線スキャナーケーブルのUSBコネクタを本体のスキャナーポートに差し込みます。



無線スキャナーの場合

無線スキャナーに付属のUSBレーザーを本体のスキャナーポートに差し込みます。



※ 無線スキャナーの充電には、無線スキャナーに付属のUSB充電器とUSBケーブルを使用してください。

8-2 スキャナーの使いかた

本体が電源オフの状態ですキャナーを接続した場合は、接続後に本体の電源を入れてください。

※ スキャナーが接続されると、タッチパネルの上部にバーコードのアイコンが表示されます。

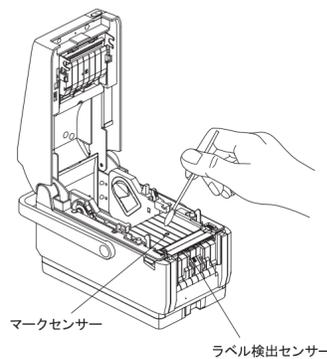
- スキャナーのスイッチを押します。
スキャナー先端から赤色光が発せられます。
- 赤色光をバーコードに合わせます。
「ピッ」と音がしてバーコードを読み取ります。



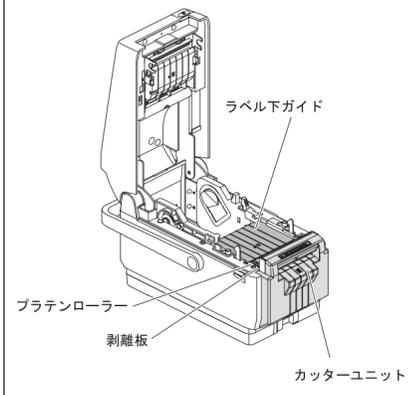
9 定期的なクリーニング（つづき）

9-4 クリーニング手順4 ラベル搬送路2

- マークセンサーとラベル検出センサーのみ、先端部が柔らかい綿棒などで表面を丁寧に拭き取ります。



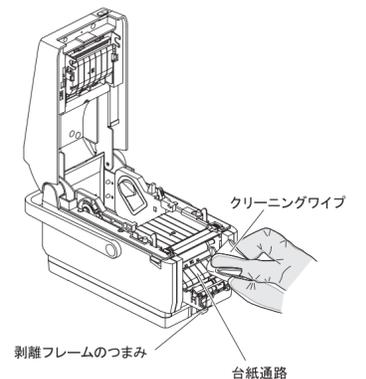
△注意：
・下図でグレーのエリア（ラベル下ガイド、プラテンローラー（オレンジ色）、剥離板（緑色）、カッターユニット（カッターユニット装着時）は、表面に特殊なコーティングがなされているので、クリーニングワipesでは絶対に拭き取らないでください。



- ラベルホルダーが最大に開いている状態で、本体底面に溜まっているホコリや異物などを拭き取ります。

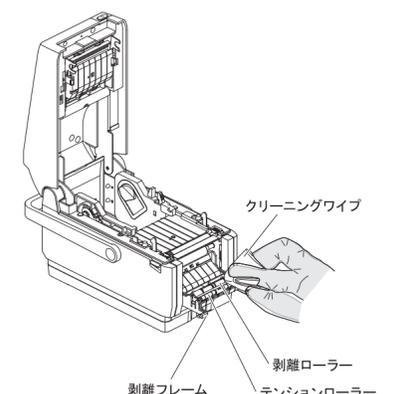
9-5 クリーニング手順5 発行口1

- 剥離フレームの両側つまみを手前に引き、剥離フレームを開きます。
- 台紙通路の糊や汚れを拭き取ります。



9-6 クリーニング手順6 発行口2

テンションローラー、剥離ローラーの糊や汚れを拭き取ります。
※ テンションローラーおよび剥離ローラーの作業時は、剥離フレームを押さえながら作業を行ってください。



■ 本製品の操作説明について

本製品の設定、印刷手順、データ管理などの操作方法については、電子マニュアル「取扱説明書」で説明しています。「取扱説明書」は、弊社のWEBサイトで閲覧できます。

「取扱説明書」はこちら
<https://www.shinseiind.co.jp>

